

2025 年度

学校名： 新潟市立桜が丘小学校

対象学年： 6 学年

① 学習指導案

プログラム	No.11「地域景観プランナーになろう」
単元名 (全40時間)	まちと生きる
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○場所によって地域・自然・景観のよさが異なることに気づく。 ○自分の暮らす地域と、訪れた場所の地域・自然・景観との違いを知る。 ○自分のまち（地域）のよさについて、友達の考え方や見方に違いがあることを知る。 ○情報収集能力を身につけ、情報を効果的に伝えていく方法を体験する。 ○まちのよさを活かしていくために必要なことを話し合う。
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> 1 地域と私の関係を考え、地域のよさ等を考える。 2 地域のよさを取り入れた学校にするために、学校の花壇で花を育てる。 3 他地域を訪れ、体験や取材をし、地域に生きる方の思いがまちを形作ることに気付く。 4 自治会長へインタビューし、自分の地域の特色や取組を捉え直す。 5 「花交流プロジェクト」を行う。 6 花であられるまちが今後も続くように、地域へ発信する。
参考資料 準備品 実施場所等	<ul style="list-style-type: none"> ・iPad、地域地図、花の種、土、肥料、鉢（プランター）、軍手 教室、特別活動室、会津若松地方（調べる地域）、近隣公園（2か所）

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1	○自分の地域のよさを挙げ、地域の魅力を再認識する。	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度までの学習で学んだ対象や近くの公園の花について写真を準備しておき、全体で共有できるようにする。 	○地域に関心をもち、地域のよさの一つに「花」があることを再認識し、学校生活にも取り入れようとしている。
2 ～ 7	○学校の花壇に植える「花」について調べ、検討し、種をまく。	<ul style="list-style-type: none"> ・咲く時期、開花期間、花言葉、背の高さ等の調べる観点を話し合ってから調べ、植える花を決定していくようにする。 ・種が届くまでに花壇を自分たちで耕し、整地する。 	○自分なりの理由をもって学校に植える花としてふさわしいものを選んでいく。
8 ～ 20	○他地域を訪れ、まちづくりの情報を収集したり、自治会長から地域の取組（1家庭1鉢運動）を聞いたりして、自分たちにできることをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行で訪れた施設や旅館の方からまちづくりについての話を聞く場を設定する。 ・自分の地域のまちづくりとの違いを挙げる中で、まちは地域の方の思いで形作られることに気付くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○花は人を喜ばせる「おもてなし」の効果があることに気付いている。 ○まちのあり方が様々あることに気付き、地域住民とのかわり深まるよう、自分にできることを



21 ～ 32	○自宅の近所の方等に花を配ってかかわりを深める「花交流プロジェクト」の実践計画を立て、実行する。	<ul style="list-style-type: none"> いつ、どこで、誰に、なぜ、どのような花を、どのように配る（渡す）とよいかについて話し合い、目的を明確にさせる。 地域教育コーディネーターや地域のコミュニティ協議会、自治会長等と連携し、花交流をするとよい地域の方を選定してもらう。 	<p>考えることができる。</p> <p>○花の特徴や渡す方のこと等、様々な視点から地域に花が増えたり、地域住民とのかかわりが深まったりする工夫を考え、花交流プロジェクトを進めようとしている。</p>
33 ～ 40	○「花交流プロジェクト」についてポスターやリーフレットにまとめ、地域住民等に発信する。	<ul style="list-style-type: none"> ポスターやリーフレットに活動してきた内容を入れ、景観を守るよさを地域住民に伝える。 学校や学校近くのコミュニティハウスに地域の方を招き、活動の内容を伝えたり、おもてなしをしたりする。 	<p>○景観を守ることのよさについて考えたことを表現している。</p> <p>○景観を守る活動をすることで、地域の方とのかかわりが深まっていることに気付いている。</p>





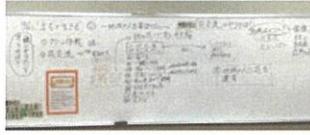


<留意点>

- 本活動は、SDGs 11「住み続けられるまちづくりを」を中心に、SDGsと複合的にかかわっていると考える。各教科とも関連させ、SDGsも意識させながら進めていきたい。SDGsの達成のためには、「目に見えることから見えないことへの気付き」が必要になると考える。「花（景観）」という目に見えるものを大切にすることを通して、「人とのかかわり」という目に見えないものが深まっていたことに気付かせたい。そのために、単元構成を工夫し、そのようなことに気付き、行動に移すことのできる子どもが育つようにしていきたい。

② 事業実施報告書詳細

学校名 新潟市立桜が丘小学校

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
1	学校	・自分の住むまちのよさを挙げ、「公園がたくさんあり、花がきれいに咲いている」ことを再認識した。		<ul style="list-style-type: none"> 私たちのまちには、たくさん花できれいな公園がある。 花できれいな公園を自分達も守っていきたい。 今から種をまくと、秋に花が咲く。
2 ～ 4	学校	・どんな花がよいか、観点を10個挙げて調べ自分で育てられる花を検討する。		<ul style="list-style-type: none"> 病気に強く、長持ちする花だと、たくさんの方が見てくれて喜ぶと思う。 花言葉も大切だと思う。
5 ～ 8	学校	・修学旅行で訪れる施設や地域の景観等について調べ、どのような工夫がされているか考える。		<ul style="list-style-type: none"> 観光地だから、店先をきれいにさせるために、掃除がしてあるね。 花も飾ってあるね。

9 ～ 18	他地域 学校	<ul style="list-style-type: none"> • 修学旅行で会津若松市を訪れ、まちづくりの情報を収集して、まとめる。 		<ul style="list-style-type: none"> • 会津若松市と桜が丘の共通点は、花などの植物がたくさんあること、きれいに掃除してあること、人が優しいことだと感じた。
19 ～ 20	学校	<ul style="list-style-type: none"> • 私たちの地域の花は誰が植えて、誰が整備してくれているのか、自治会長に尋ねる。 		<ul style="list-style-type: none"> • 公園等の花を植えたり整備したりしているのは、自治会の方々が無償でやってくれていた。自分たちも協力したい。
21～ 23	学校	<ul style="list-style-type: none"> • 自分たちも「花いっぱい運動」に参加するため、花の種をまく。 		<ul style="list-style-type: none"> • 「花いっぱい運動」という活動をしているから花が家の前にもたくさんあることが分かった。自分たちで育てた花をプレゼントしてみたい。 • 秋に花が咲き、花言葉も素敵な、ピオラとコスモスの種をまこう。
24～ 26	学校 公園	<ul style="list-style-type: none"> • 学校の周りや近隣公園、スーパーマーケット等でクリーン作戦を行い、花をきれいに見せる。 		<ul style="list-style-type: none"> • クリーン作戦をすることで、花がきれいに見えるようになった。 • ゴミや葉が排水溝に詰まったり、人が葉などで滑って転んだりする心配も減った。 • 地域の方が喜んでくれるといいな。
27～ 30	学校 校区内	<ul style="list-style-type: none"> • 「花いっぱい運動」の計画を立て、地域の方と一緒に花植え→自宅の近所の方や地域のお店に花を配ることを決めた。 • 地域の方と一緒に一人2鉢に花を植えた。 • 一人2鉢の花を近所の方や地域のお店に配りに行く。 	 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域のみんながこの地域にずっと住み続けてくれるといいな。 • 地域の方が喜んでくれてよかった。この活動をもっと広めて、この地域をもっと好きになってもらい、地域の方に住み続けてもらいたい。
31～ 38	学校	<ul style="list-style-type: none"> • 「花いっぱい運動」「クリーン作戦」の2つの活動を地域に広め、地域全体でまちづくりをするため、ポスター、リーフレット、ホームページを作成して呼びかけたい。 		<ul style="list-style-type: none"> • 地域の方が活動したくなるようなキャッチフレーズを入れるとよい。 • 多くの方が訪れる場所にポスターを貼ったり、リーフレットを置いたりして、私たちの活動を広めたい。

39~ 40	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちと生きる」とはどのようなことを意味するのかを考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の回覧板を活用して、多くの方に知ってほしい。 ・「まちと生きる」とは、「地域の人々の思いでまちをつくり、まちのよさを知り、まちの特徴やよさを活かしながら生きていく」「みんなでよりよいまちを目指すこと」。 ・小学校卒業後も継続して活動したい。
-----------	----	--	--	---

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に浸る時間を確保し、地域に思いを馳せられるようにした。 ・子どもが自分の地域と他地域を比較できるように、修学旅行先で写真を撮り溜めたり、必要な情報を入手しやすくしたりした。 ・子どもが住んでいるところを地図上で線で結びと広域になるため、インターネットの地図アプリ等を利用して、全員がイメージできるようにした。
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの近所の方に案内や花を渡す活動のため、教師が活動を把握することが難しかった。また、学校を離れているため、コミュニケーションが苦手な子どもへの支援（一緒にいってあげるなど）がうまくできなかった。 ・花を渡す相手として近所の方が難しい場合は、学校近くのお店に教師同伴で行くことにしたが、思ったよりも花が多くなってしまった。
<p>(3) 児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分たちの活動で、地域が花で盛り上がってくれるといい」「花から地域の方同士が関わりをつくってくれるといい」「いつまでもきれいな地域を保ち、人口が増えるといい」など、地域の方が自分たちの活動に賛同してくれることを願っている。
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方やお店は、小学生の活動を快く受け入れてくださり、応援していただけることが改めて分かった。また、小学生のリーフレット等は地域の方から好評であることも店長さん等のお話から分かった。地域と共に活動すると、子どももとても成長するため、今後も地域と共にできる活動をつくっていきたい。
<p>(5) 今後の課題と取組〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回は、子どもの近所の方へのプレゼントを行ったため、渡すのは子どもや家庭に任せたが、活動状況を把握する対策が必要だと感じた。 ・地域の方がどの程度子どもの活動に参画していただいているのかを把握し、子どもたちにフィードバックすることで、子どももさらに地域をよりよくしようとするのではないかと考えている。